

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）				対象年度		令和5年度		
事業番号	15	事業名	巡回バス運行再編事業		担当課		安心安全課	
			(大事業名) 巡回バス運行事業		予算区分（款-項-目-中事業）		2-1-12-2 巡回バス運行再編事業	
					決算書ページ		73 ~ 一般	
総合計画	基本目標	6	あえて歩いてみたくなるまち		事業開始の背景	平成9年の住民意識調査において、住民ニーズの最も高い項目として「公共交通機関の整備や利用」が挙げられるなどしたため、先進自治体で模索されはじめた“巡回バス”や“コミュニティバス”に着目し、新たな市民の足づくりとして事業を開始しました。		
	政策	1	外出しやすい環境の整備					
	施策	(1)	公共交通の利便性の向上					
						市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可
その他	開始年度		平成10年度					
	終了予定年度		<input type="checkbox"/>	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定		
	根拠法令等							
関連計画		長久手市地域公共交通計画						
I 基本情報	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
	<b>【対象】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数：      60,000人 <b>【事業内容】</b> N-バスの運行を継続し、引き続き市民のための公共交通となるよう、路線の見直しや運賃の改定を行います。		<b>【アクションプラン指標】</b> N-バス利用者数【単年】  <b>【その他の指標】</b> 乗降調査実施回数		N-バスの乗車人数が増加する。  (成果指標名)  N-バス乗車人数		大 事 業 共 通  以下の4項目の実現を目指し事業を進めます。 ・市内交通空白地帯の解消 ・公共施設の利便性の向上 ・高齢者や子どもなどの交通弱者の社会参加の促進 ・子育て支援	

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値 (2018年) 目標値 (2023年) ※AP指標のみ	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
		1	【アクションプラン事業】 N-バス乗車人数	人	基準値	260,513	見込	139,941	147,000	153,000	159,000	136,000	
					目標値	189,700	実績	139,898					
		2	【その他指標】 乗降調査実施回数	回	基準値		見込	6	6	6	6	6	
					目標値		実績	6					
		3			基準値		見込						
					目標値		実績						
		4			基準値		見込						
					目標値		実績						
		エピソード											
		事業開始からの経緯											
		平成10年7月1日から2台のN-バスが走り始め、市の地域公共交通に係る各種計画、長久手市地域公共交通会議での議論、市民ワークショップ等を踏まえ、ルート再編や料金改定を行い、現在5台のN-バスで市内を運行しています。											
		R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		コロナ禍、ルート・ダイヤ改正により乗車人数の減少はみられたものの、令和5年の5類への移行により、まずはコロナ禍以前と同程度の乗車人数になるように、引き続き、令和6年4月に策定した長久手市地域公共交通計画等をもとに取組を進めたいと考えています。 なお、収支率については、令和4年の料金改定により、上昇傾向（約7%）にあるものと言えます。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (CHECK)	成果指標名 (中間成果をはかるもの)		単位	成果指標の推移と目標									
		N-バス乗車人数		人	R3 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R8 年度		R10 年度	
					137,341		132,734		139,898		143,841		146,441	
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						N-バス事業として、「市内交通空白地帯の解消」、「公共施設の利便性の向上」「子育て支援」、「高齢者や子どもなどの交通弱者の社会参加の促進」の達成具合を図るための定量的な指標としています。 目標数値は、コロナ禍直後のR3を基準に毎年約1% (1,300人)の乗車人数増加を目標としています。					
	評価の理由、分析													
	感染症の類型が5類へ移行したことにより、コロナ禍前のように人の移動が増えてきた中で、N-バスの乗車人数は前年度より増えましたが、目標よりも少なかったことからC評価としました。													
	加える変化 (ACTION)	今後の方向性 (3年~5年先)			今後の方向性の理由									
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止			令和6年度に策定された地域公共交通計画やその計画に位置付けられた新しい施策(デマンド)などをもとに、市としてより持続可能な地域公共交通となるように、N-バス(デマンドを含む。)について、令和9年度の再編に向けて検討を進めます。								
		<b>改善ポイント</b> ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名			見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度			
1				<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止										
2			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											

IV 費用	R7年度の費用（R6年度比）		（単位：千円）	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
	B	A. 現状維持 B. 拡充	事業費	予算	予算	決算	予算	決算
		C. 縮小 D. 廃止		400	400	400	300	300
	理由		特定財源	合計額				
	令和9年度のNーバスの再編に向けて、 毎年の乗降調査に加えて様々な取組を 行っていくため、拡充としました。			（内 国費）				
				（内 県費）				
				（内 諸収入）				
				（内 その他）				
	積算額		一般財源	400	400	400	300	300
	R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R5年度予算額）>		共同研究負担金 400千円（400千円）					
未定								
令和7年度予算の方向性（PLAN）		3年間の推移						